

チャレンジ支援推進地域事業研究報告書

都道府県名 福岡県

<p>1. チャレンジ支援ネットワークの全体像</p>	<p>(事業名) チャレンジ・ネットワーク環境整備推進事業 (ネットワーク等全体像) 福岡県男女共同参画センターあすばるにおいて、様々な支援機関がもつ情報を一元化し、チャレンジを考えている女性のニーズに応じた支援策の情報を総合的かつ効率的に提供できる「チャレンジ支援拠点」として整備する。</p> <p>(ネットワーク参加機関) 別添 1 (事業の経過及び概要)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">平成 17 年</td> <td style="width: 15%;">6 月</td> <td style="width: 70%;">第 1 回チャレンジ支援連絡協議会の開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9 月</td> <td>第 2 回チャレンジ支援連絡協議会の開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10 月～1 月</td> <td>NPO 等との協働事業の実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11 月～3 月</td> <td>ロールモデルの取材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11 月</td> <td>チャレンジサミットの開催</td> </tr> <tr> <td>平成 18 年</td> <td>1 月</td> <td>関係機関連絡会議(4 地域別)の開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 月</td> <td>関係機関ネットワーク会議の開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 月上旬</td> <td>利用者座談会の開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中旬</td> <td>第 3 回チャレンジ支援連絡協議会の開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>広報誌の作成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 月末</td> <td>チャレンジサイトの開設</td> </tr> </table>	平成 17 年	6 月	第 1 回チャレンジ支援連絡協議会の開催		9 月	第 2 回チャレンジ支援連絡協議会の開催		10 月～1 月	NPO 等との協働事業の実施		11 月～3 月	ロールモデルの取材		11 月	チャレンジサミットの開催	平成 18 年	1 月	関係機関連絡会議(4 地域別)の開催		2 月	関係機関ネットワーク会議の開催		3 月上旬	利用者座談会の開催		中旬	第 3 回チャレンジ支援連絡協議会の開催			広報誌の作成		3 月末	チャレンジサイトの開設
平成 17 年	6 月	第 1 回チャレンジ支援連絡協議会の開催																																
	9 月	第 2 回チャレンジ支援連絡協議会の開催																																
	10 月～1 月	NPO 等との協働事業の実施																																
	11 月～3 月	ロールモデルの取材																																
	11 月	チャレンジサミットの開催																																
平成 18 年	1 月	関係機関連絡会議(4 地域別)の開催																																
	2 月	関係機関ネットワーク会議の開催																																
	3 月上旬	利用者座談会の開催																																
	中旬	第 3 回チャレンジ支援連絡協議会の開催																																
		広報誌の作成																																
	3 月末	チャレンジサイトの開設																																
<p>2. 女性のチャレンジ支援関係事業</p>	<p>(1) チャレンジ支援ネットワークを活用し、複数の支援機関が連携して実施した事業</p> <p>ア. 福岡県女性のチャレンジ支援連絡協議会の運営</p> <p>連携機関名 別添 1 連携事業の具体的な内容</p> <p>目的 チャレンジ支援の関係機関から構成される協議会を発足し、チャレンジ・ネットワーク環境整備について企画・立案する。</p> <p>実施期間</p> <p>第 1 回 日時：平成 17 年 6 月 17 日(金) 場所：福岡県男女共同参画センター 内容：事業計画についての意見交換</p> <p>第 2 回 日時：平成 17 年 9 月 27 日(火) 場所：福岡県吉塚合同庁舎 内容：事業の進捗状況報告、NPO 等との協働事業(公募型事業)の選考、決定</p>																																	

第3回

日時：平成18年3月14日（火）

場所：福岡県吉塚合同庁舎

内容：事業の結果のまとめ、今後の連携・協力について

(2)(1)に関連した関係機関等の取組

ア．NPO等との協働によるチャレンジ事業

女性のチャレンジを進めるような事業企画を公募し、チャレンジ支援連絡協議会で審査の上、実施団体を決定した。また、実施に当たってのアドバイスをを行った。

連携機関名 別添2

連携事業の具体的な内容 別添2

イ．チャレンジ支援の普及啓発

地域サミットの開催やあすばるフェスタでのパネル展示、女性のチャレンジロールモデルを掲載した冊子等による広報でチャレンジ支援についての普及啓発を実施した。

連携機関名 別添3

連携事業の具体的な内容 別添3

ウ．チャレンジ支援機関との連携強化

県内4地域ごとチャレンジ支援機関との協議の場を設けた。また、市町村の女性センターや働く婦人の家とのネットワークを図るための協議を行った。

連携機関名 別添4

連携事業の具体的な内容 別添4

エ．チャレンジ支援を考える座談会の開催

チャレンジ支援を利用する側からの意見を求め、チャレンジ支援サイト等の作成・運用に生かしていくため、参加者を公募しての座談会を実施した。

連携機関名 別添5

連携事業の具体的な内容 別添5

オ．女性のチャレンジ応援サイトの整備

県男女共同参画センターあすばるを、チャレンジ支援に関する総合的相談等が可能な、福岡県における拠点施設とするために必要な情報集を行い、チャレンジ支援のホームページを構築した。

連携機関名 別添6

連携事業の具体的な内容 別添6

カ．ロールモデルの取材

チャレンジしている女性のロールモデルの好事例を女子大学生が取材し、その情報提供をチャレンジサイト及び広報誌で行った。

連携機関名 別添7

連携事業の具体的な内容 別添7

<p>3 . 事業の成果及び今後の課題</p>	<p>(1) 事業全体の成果 チャレンジ支援ネットワークの全体像 チャレンジ支援という目的での団体間のネットワークをつくることができた。 チャレンジサイトの開設で、チャレンジしようとする女性に対して効果的・効率的に情報提供を行うことができるようになった。 女性のチャレンジ支援関係事業 連携団体、事業協働団体が、女性のチャレンジを応援しようとする活動を広げる機会になった。また、参加者のチャレンジへの意欲や実践力を高めることができた。 事例集の作成で、県内のロールモデルと関係機関や取材者との新たな出会いを作ることができた。また、多くのロールモデルの情報を提供することができた。</p> <p>(2) 今後の課題 チャレンジサイトの情報を充実させるために、情報提供機関を増やすこと。 チャレンジ支援で連携した団体間との情報交換を定期的に行うこと。 チャレンジしようとする女性のニーズを的確につかんでいくこと。 チャレンジ支援事業に係わった団体や個人との連携や協力体制を整備すること。</p>
<p>4 . 備考</p>	
<p>5 . 担当部課等</p>	<p>(所在地) 福岡市博多区東公園 7 - 7 (部課名) 福岡県生活労働部男女共同参画推進課 (担当者) 橋本聚・池上久仁枝 (部課名) 福岡県男女共同参画センターあすばる (担当者) 犬塚啓二・荒巻康彦</p>

福岡県女性のチャレンジ支援連絡協議会参加機関

分野	機関
学識経験	久留米大学
就業支援	福岡労働局雇用均等室
	財団法人 21世紀職業財団 福岡事務所
	福岡県若年者しごとサポートセンター
起業支援	福岡県経営者協会
	福岡県商工会議所連合会
	福岡県商工会連合会
	福岡県SOHO事業協同組合
	株式会社 ファウブ
	福岡県生活労働部労働局新雇用開発課新生活産業室
福祉・地域活動	社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会
	福岡県NPO・ボランティア支援センター
	福岡県社会教育総合センター
男女共同参画	福岡県男女共同参画推進連絡会議(みらいねっと)
	北九州市立男女共同参画センター”ムーブ”
	福岡市男女共同参画推進センター・アミカス
	福岡県男女共同参画センターあすばる

女性のチャレンジ支援 「NPO等との協働によるチャレンジ事業」

1【趣旨】

財団法人福岡県女性財団（以下「財団」という）は、様々な分野への生涯を通じた女性のチャレンジを支援するため、県内を主たる活動地域として男女共同参画社会の実現に向けた活動を行っているNPOや団体等（以下「団体」という）から企画の提案を募集し、協働事業を実施する。

2【事業内容】

財団は、女性のチャレンジを進めるような事業企画を公募し、NPO等との協働事業として実施する。

3【対象事業】

次の～のいずれかに該当し、生涯を通じた多様な女性のチャレンジを支援するような事業であること。

政策・方針決定過程に参画し、活躍することを目指す「上」へのチャレンジ。
起業家、研究者・技術者等、従来女性が少なかった分野に新たな活躍の場を広げる「横」へのチャレンジ。
子育てや介護等でいったん就業を中断した女性の「再チャレンジ」

4【事業委託料】

30万円を上限とする。

5【団体の募集】

募集期間：平成17年7月9日（土）～8月20日（土）

募集内容説明会：平成17年8月6日（土）

8【採用団体数】

採用団体：県内3団体

- ・ フェミニストカウンセリング福岡
- ・ キッズサポートたんぽぽ
- ・ かま女性ネットワーク設立準備会

9【実施時期】

平成17年10月から平成18年1月

平成17年度「NPO等との協働によるチャレンジ事業」実施報告

団体名	事業目的	事業内容	実施プログラム	対象者	参加人数	今回の事業で貢献できた点	委託金額
フェミニストカウンセリング 福岡	働く女性がコーチングというコミュニケーションスキルを学び、起業家や企業の管理者・リーダーとして活躍の場を広げ、依然低い女性の社会的地位の打破を目的とする。 コーチングとはコミュニケーションを通じて相手が成し遂げたいことを見つけ出し、どうやったら実現できるのかを探求し、自発的な行動を促し、結果を創り出すことをサポートするコミュニケーションスキルである。(魚を与えるのではなく、取る方法を教えるのではなく、自らの手で魚を獲得できるように導く)	コミュニケーション学の専門家を講師に招き、3回シリーズの講座にてコーチングスキルを学ぶ。ただ講義を聞くのではなく、ワークショップ等を通し、出来るだけ受講者同士でコミュニケーションを取り、傾聴・受容の体験をする。	働く女性のためのパワーアップセミナー(全3回) (コーチングスキルを学ぼう!) 12/23 『人』から可能や行動を引き出すコミュニケーションとは？ 1/13 相手から様々な資質や能力を引き出す聴き方 1/27 パートナーシップ&リーダーシップ	働く女性	12/23日 109名 (女性108名、男性1名) 1/14日 85名 (女性85名、男性0名) 1/27日 86名 (女性86名、男性0名)	自分自身を変革できずにもどかしさをかかえて社会参画をしている女性に講座を通じて自分自身の可能性を目覚めさせ、さらに周囲の人々をパワーアップするコミュニケーションスキルを身につけていただくことにより、女性が自己変革をし、チャレンジしていくためのパワー獲得につながった。	300,000円
キッズサポートたんぼぼ	子育て支援講座を受講し、託児活動に参加することにより、子育て中の女性に社会参画や学習参加の機会を増やし、活躍の場を広げる。また、乳幼児の心や身体の発達過程を学ぶことにより、ゆとりある保育と健全な親子関係を築くことを目的とする。	12回シリーズの子育て講座 財団法人女性労働協会発行の育児テキストを使用し、地域の保育園園長・小児科医師を講師に迎え正しい保育知識を身に付けていく。	子育て支援ボランティア養成講座(全12回) 10/20~1/26(週1回) ・初回「心の発達とその問題」、2回目以降「保育現場見学」、「乳汁・食事(調理実習)」等、最終回「男女共同参画の視点から地域で子育て支援するには」	育児中の女性	延べ293名 10/20:26名、10/26:26名 11/2:27名、11/11:26名、 11/17:24名、11/25:23名 12/1:23名、12/7:24名、 12/15:23名、1/12:22名、 1/19:23名、1/26:26名	講座を学んだ受講者が育児の喜びを体感し、開放感やゆとりが生まれ、社会に出て活動したい等の意欲と自信を喚起させる事ができた。	288,400円
かま女性ネットワーク 設立準備会(仮称)	合併により誕生する嘉麻市に合わせて1市3町の女性団体のネットワーク化を計る。その前準備としてお互いの交流と男女共同参画社会実現の必要性を共有する。また、女性の自己尊重感を高めることと、具体的な自分の意思の伝え方を学習することにより、女性の社会参画の契機とする。	男性中心の社会の中で求められる「女性らしさ」への囚われや「役割」に対する縛りに、生き難さを感じている女性に自分と向き合いあきらめない生き方を知ってもらう。 ・自己尊重感を高めるための講話とワークショップ ・アサーティブ(自己主張行動の訓練技法)で伝えることを実践として学ぶ。	講演&エンパワーメントできるワークショップ 11/13 講演「希望に向かって、手をつなごう！」 11/19 参加型学習「自分のことが好きですか？」 ~好きになろう！ 11/26 参加型学習「自分のことが好きですか？」 ~好きになろう 12/3 参加型学習「イヤだと素直に言えますか？」 ~言ってみよう！	一般 一般 一般 一般	65名(女性61名、男性4名) 24名(女性24名、男性0名) 18名(女性18名、男性0名) 24名(女性24名、男性0名)	意見を言う事が出来ないと思いきこんでいた女性達が、講座を通じて意思を表明できると感じた事。参加者が共同参画社会づくりの為に何かをしなれば、という気持ちになれたこと。モチベーションアップにつながった	297,000円

1 趣 旨

女性も男性も誰もが自らの能力と意欲によって夢や希望を実現することが可能な、男女共同参画社会の実現に向けて、様々な分野で活躍するチャレンジャー達の意見を発信することにより、チャレンジの機運を醸成するとともに、男女共同参画表彰を実施することにより、男女共同参画社会づくりに対する理解を深めていただくことを目的に開催する。

2 開催日 平成17年11月26日(土)

3 会 場 クローバープラザ アリーナ棟大ホール

4 内 容 講演、パネルディスカッション

プログラム

13:00 開会

福岡県男女共同参画表彰 表彰式

13:30 講演「道を拓くのはあなた自身！」～チャレンジすることの喜び～

～14:30 講師

林文子(株式会社ダイエー代表取締役会長兼 CEO)

14:30 パネルディスカッション 「今日からチャレンジ!明日に、未来へ」

～15:50 パネリスト

大谷鮎子(株式会社オリジナル・メディア・サービス代表取締役)

小嶋寿見子(NPO 法人ヴィーナスワン代表)

榎原宏司(株式会社キューセツ専務取締役)

宮崎鐘子(社団法人福岡青年会議所理事長)

コーディネーター

定塚由美子(内閣府男女共同参画局推進課長)

5 主 催 内閣府、福岡県

6 共 催 あすばるフェスタ2005実行委員会、ふくおかみらいねっと(福岡県男女共同参画推進連絡会議)、(財)福岡県女性財団

7 参加者の声

- ・林さんの「何事にも一生懸命」の言葉が印象に残った。
- ・人生にとって参考になった。
- ・熱いものを感じた。林さんを目指して頑張る。
- ・楽しい時間を提供していただき有り難う。また、明日から仕事を頑張る。林さんの話はエネルギーで良かった。今からやっていくことに元気が出た。

チャレンジ支援機関との連携強化

1 連携機関

チャレンジサイト掲載団体、女性センター、男女共同参画センター、働く婦人の家、県内市町村など

2 具体的な内容

(1) 目的

県内を4地域に分け、チャレンジ支援機関との協議の場を設けた。また、市町村における女性のチャレンジ拠点施設である女性センターや働く婦人の家とネットワーク会議を開催した。

(2) 開催内容

ア 情報提供に関する連絡会議の開催

各地域における掲載（予定）団体を対象に、事業及びサイトの説明を行い、それぞれの支援機関の概要や講座・セミナー情報の提供について協力依頼を行った。

また、併せてサイトにおける情報の提供方法についても説明を行った。

- ・筑豊地域 イイツカコミュニティセンター
平成18年1月20日（金）
- ・北九州地域 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」
平成18年1月20日（金）
- ・筑後地域 えーるピア久留米久留米男女平等推進センター
平成18年1月26日（木）
- ・福岡地域 福岡県男女共同参画センター「あすばる」
平成18年1月27日（金）

イ 拠点施設とのネットワーク会議の開催

県内のチャレンジの活動拠点となる男女共同参画センターや働く婦人の家を対象に、チャレンジ支援事業についての説明を行った。また、各センター等から事業概要の説明があり、今後のネットワーク化について意見交換を行った。

- ・対象 男女共同参画センター・女性センター 11施設
 働く婦人の家 16施設
- ・日時 平成18年2月9日（木）
- ・場所 福岡県男女共同参画センター「あすばる」

チャレンジ支援を考える座談会の開催

1 連携機関

福岡県若年者しごとサポートセンター、ワーク・ステーション FUKUOKA、福岡県 SOHO サポートセンター、福岡県 NPO・ボランティア支援センター、福岡県農政部 農業技術課、福岡県農林事務所、福岡県男女共同参画連絡会議（ふくおか みらいねっと）

2 具体的な内容

(1) 目的

チャレンジ支援を利用する側からの意見を求め、チャレンジ支援サイト等の運用に生かすため、利用者を4つの分野から公募して座談会を実施した。

(2) 公募の方法

関係機関及び福岡県男女共同参画センターあすばるにおいて、座談会の参加者公募のチラシを配布し、参加者を募り、分野別に座談会を実施した。

(3) 実施時期 平成18年2月18日（土）、19日（日）

(4) 参加者

- ・雇用分野（女子大学生4名、SOHOセンター5名）
- ・NPO・ボランティア分野（ボランティア3名）
- ・農業分野（農業関係行政職員、OB等10名）
- ・地域（県内女性団体5名）

(5) 成果

それぞれの参加者から、サイトの構成や掲載情報などについて意見があり、検討の結果、必要な修正や情報の追加などを行った。

（主な修正等）

- ・トップページで、フラッシュが見られない利用者のことを考慮して、代替え頁を作成した。
- ・利用者にサイトの趣旨や目的を理解してもらうようサイトの説明を追加した。
- ・キーワード検索をトップページに追加した。
- ・図書の紹介は、著者名、出版社名を追加した。
- ・フォントなどは目の悪い人にも考慮したサイトづくりをした。

チャレンジ応援サイトの概要

1 「あすばるチャレンジナビ福岡」の特徴

福岡県内の支援機関を中心に、支援内容、講座・セミナーや相談窓口などの情報を掲載するとともに、国のサイト情報も掲載

- (1) 働きたい、キャリア・アップしたい、起業したい、社会貢献したい女性が効率的に情報を入手できるよう、様々な機関からバラバラに提供されている情報を集約し、分野別・項目別にわかりやすく掲載しています。
- (2) 各支援機関のホームページに直接リンクし、詳細な情報が得られます。支援内容の紹介にあたっては、欲しい情報に容易にアクセスできるようわかりやすく表示しています。
- (3) 県内のチャレンジの活動拠点となる施設(女性センター・男女共同参画センターや働く婦人の家など)の概要や所在地など、基本情報をわかりやすく掲載しています。各施設のホームページに直接アクセスすることもできます。
- (4) 県内の各支援団体が実施する講座・セミナーについてデータベース化し、分野別、開催日、託児の有無、開催地域などの条件で検索して調べることができます。
- (5) チャレンジしたいテーマ別に図書資料の紹介をしています。また、福岡県男女共同参画センターの図書検索システムとリンクして、詳しい情報を提供します。
- (6) 働く、起業、キャリア・アップ、NPO・ボランティア、農林水産など、県内の様々な分野で活躍している女性の好事例を紹介しています。
- (7) 利用者が、情報交換できる掲示板を設置しています。
- (8) このサイトの一部(関係機関の情報、講座・セミナーの検索)は、携帯電話でも見ることができます。

2 掲載団体

- (1) 国関係 84 機関
- (2) 県関係 71 機関
 - ・ 働きたい
 - ・ キャリアアップしたい
 - ・ 起業したい
 - ・ NPO・ボランティアに参加したい
 - ・ まちづくりに参加したい
 - ・ 農林水産分野で働きたい
 - ・ 国際・研究分野で活躍したい
 - ・ 育児・介護と両立したい

チャレンジしている女性たちの情報をはじめ、女性のチャレンジを応援する情報は、

あすばるチャレンジナビ福岡

<http://www.asubaru.or.jp/asunabi/>

このサイトは、「働きたい」「キャリア・アップしたい」「起業したい」「社会貢献したい」など、女性のチャレンジを8つのテーマに分け、いつでもどこでも、すぐに欲しい情報を見つけることができる女性のチャレンジ応援サイトです。

チャレンジに役立つ支援団体の情報、県内各地の講座・セミナーの検索、活躍している女性たちの事例紹介、チャレンジを応援する図書の紹介などを掲載しています。また、利用者自らが情報の提供や交換を行う掲示板「チャレンジ広場」もあります。



女性がアクティブに行動できるように、インターネットを通じてサポートします。

「ロールモデルの取材」

1 趣旨

本事業は、女性が意欲的にチャレンジするためにチャレンジ支援関連機関の支援情報や好事例等の情報を提供する「チャレンジ・サイト」（内閣府・チャレンジ支援関係情報提供サイト）の充実を図るため、福岡県におけるチャレンジ支援関連機関の支援情報や好事例（ロールモデル）等の情報収集を行うものである。

また、収集した事例については、「あすばるチャレンジナビ福岡」やロールモデル事例集に掲載するなど、広く情報提供を行う。

2 事業内容

（1）取材対象

次のいずれかに該当する情報を、取材対象とした。

これからチャレンジしようとする女性にとって目標となる、またはチャレンジすることが身近に感じられ意欲が湧くような女性個人等の好事例に関する情報。

上記のような好事例を生み出すきっかけとなるような、または特色ある支援等を行っている女性センター・男女共同参画センター等における取組に関する情報。

（2）情報収集先

「福岡県女性のチャレンジ支援連絡協議会」、県庁各課、県内の政令指定都市・市町村、「福岡県男女共同参画推進連絡会議（愛称：ふくおか みらいねっと）」、県内女性センター・男女共同参画センター等

（3）取材候補の選定基準

上記団体から広く情報を収集し、その中から取材するにふさわしいと判断される事例を取材候補とした。なお、候補者の選定に当たっては、分野、地域等を考慮の上、決定した。

分 野 働く、キャリアアップ、起業、NPO、農林水産、まちづくり、
ボランティア、研究、国際、育児・介護

地 域 北九州、福岡、筑豊、筑後

（4）取材方法

男女共同参画に関心のある女子学生を「あすばる地域情報リポーター」に任命し、取材対象者に直接インタビューし、レポートする。

女性が、将来の自分を明確にイメージして、進学や職業などの進路選択ができるように応援する。どうすれば自分たちがなりたい職業に就くことができるのか？自分らしく生きるためにはどうすればよいのか？女子学生が、その答えを見つけるためにそれぞれが憧れる生き方をしている女性たちに会って取材をする。

なお、取材者の女性学生は、県内における女性学または男女共同参画に関する講座等のある大学に推薦を依頼し、決定した。